わが泉[[1]](#footnote-1)

　　　　　　　　　　　　香山光郎

わが園に泉あり

いと小さき

されど　澄めば

萬の物映る

晴れし宵なれば

星も月も宿す

わが園に圍なし

道行く人よ

立ち寄りて汲みたまへ

いと小さけれど

濁りてはあらず

喉潤したまへ

わが園の木陰に

隱れてあらん　われ

朝な夕な　眞夜中なれど

わが園に歩み入れて

泉汲みたまふ君仰ぎて喜ばん

1. 『國民詩歌』1941年10月号 [↑](#footnote-ref-1)